

Ryokan Information

お部屋 Room

1階 寶の槌 The 1 floor Takara no Tuchi



障子から差し込む光、小さな庭からとおる風。

朝夕六時と正午に興福寺南円堂の鐘が聞こえてきます。

お庭を眺めながらの朝食はゆっくりお召し上がりください。



狂言の曲 「寶の槌」のあらすじ

宝比べが流行っているとき、主人が太郎冠者に「都で宝を買ってこい」と命ずる。

太郎は「宝屋はどこか」と大声で道行に訪ねていると、宝屋を装った騙り者が「自分こそが宝屋だ」と太郎に声をかけた。そして、古い太鼓の桴を「これは、鬼の棲む蓬莱の島の宝で打ち出の小槌だ」と偽って、呪文を太郎に教え、いかにも刀が出たかのように見せる。

喜び急いで戻った太郎は、主人に「これは、打ち出の小槌です」と話す。主人は「黒い馬を出せ」と言い、太郎は呪文を唱えるが、出てくるはずもない。太郎は、呪文の文句から連想し、「ご出世され、お家も建てられるでしょう。鍛冶屋の音がカッターカッターと聞こえます」と言い逃れて、主人に褒められる。

* 本曲のように、財に恵まれた幸運な人＝果報者が出てくる曲、祝言性の強い曲を「果報者物」として区別している。富豪の果報者が太郎冠者に用を言いつけ、無知な太郎が失敗するが、最後はめでたく終わる曲が多い。